



埼玉東上地域大学教育プラットフォーム(TJUP)主催

TJUP学生イベント交流委員会 共同FD・SD

学生主体の探索的なコミュニケーション教育

—専門教育と教員・学生間のコミュニケーションを融合させた
各大学の教育活動から考える—

EDUCATION

2025年

9月5日 **金**

オンライン開催

学修者本位の教育を実現するためには、学生の主体的な「考え」と「専門教育」との融合が重要である。そのためには、教員と学生、さらには学生間の対話で前に進んでいく能力が必須となる。

今回の共同FD・SDでは、各大学の専門教育とコミュニケーションを融合させた教育活動を紹介することで、学修者本位の教育の在り方を考える機会になることを目的とする。

--- 事例発表 ---

東京家政大学

健康科学部
リハビリテーション学科
教授 米津 亮

日本医療科学大学

保健医療学部臨床工学科
教授 遠山 範康
保健医療学部診療放射線学科
准教授 齋藤 享子

東邦音楽大学

音楽学部
音楽学科
准教授 浦川 玲子

山村学園短期大学

子ども学科
准教授 酒井 誠

日時

2025年9月5日(金) 13:30~15:00

申込

GoogleフォームによりWeb申込

<https://forms.gle/miUBbgqyRpk6TbiW7>

申込受付期間: 7月28日(月)~8月22日(金)

申込締め切り後参加者へZoomミーティングID等配信



申込受付二次元コード

定員

50名程度

対象

TJUP会員校教職員・学生、TJUP会員校以外の大学・短大等の教職員・学生

[お問い合わせ先] 東京家政大学 地域連携推進センター TEL:04-2955-6959 E-mail: tjup-kasei@tokyo-kasei.ac.jp

TJUPとは、「地元で生まれ、地元で育ち、地元で生きていく若い世代への支援」をビジョンに、大学・短期大学、自治体、事業者等と一緒に「多様な高等教育」「生活しやすい地域づくり」「地域産業の活性化」の観点から地域活性化を目指す団体です。

学生イベント交流委員会 (山村学園短期大学・東京家政大学・東邦音楽大学・日本医療科学大学)

プログラム

はじめに 東京家政大学 健康科学部リハビリテーション学科教授 米津 亮

1

1年次コミュニケーション探索学習の紹介とその成果

東京家政大学リハビリテーション学科では、1年生を対象に医療職者として患者さんと信頼関係を築くためのコミュニケーション教育を展開しています。その教育内容の紹介と学修者がどのような能力を身につけたか、学びの成果を報告します。

東京家政大学 健康科学部リハビリテーション学科教授 米津 亮

2

日本医療科学大学におけるチーム医療教育について

医療現場では、様々な専門職が連携し、患者中心の医療を提供するチーム医療が主流です。日本医療科学大学では、1年次に全学科合同でチーム医療演習を実施し、各職種の特徴や役割について学び、グループワークを通じてチーム医療に必要なスキルの育成を目指しているので紹介します。

日本医療科学大学 保健医療学部 臨床工学科教授 遠山 範康
診療放射線学科准教授 齋藤 享子

3

音楽専門実技における教員・学生間のコミュニケーションを融合させた課題発見・解決のための学び

東邦音楽大学の専門教育の柱である専門実技は、一対一のレッスン形式で行われています。専門的な知識・技能の習得を基礎に、学生は教員と相互にコミュニケーションを図りながら、主体的な学びの方法として「音を聴く」「音で伝える」「感性を共有する」ことを目指し、自らの知的関心や目標に応じた課題を発見し、解決する能動的な学びを実践しています。学生達の課題解決型学びと学修成果を紹介します。

東邦音楽大学 音楽学部音楽学科准教授 浦川 玲子

4

自然環境を媒介とした制作活動における主体的学習の実践的考察

自然を活かした学びの中で、学生の主体性を伸ばす活動について考えます。今回は自身で採取した植物と太陽光を使用し、作品を制作するサイアノタイプという技法を使用した授業の中で、学生たちの主体的な学びを探ります。

山村学園短期大学 子ども学科准教授 酒井 誠

まとめ 東京家政大学 健康科学部リハビリテーション学科教授 米津 亮

質疑応答 東京家政大学 地域連携推進センター主任 鈴木 絵里奈